

関西支部1999年度第1回例会のお知らせ

日本気象学会関西支部は1999年度第1回例会(近畿)を次の通り開催します。多数のご参加をお願いします。

日時：1999年10月28日(木) 13時00分～17時00分

会場：京都大学防災研究所(宇治市五ヶ庄)

テーマ：西日本における最近の台風・豪雨

特別講演(13:00～13:45)

「台風域内の気圧分布から推算した地表風と実測風の間関係」

藤井 健(京都産業大学一般教育研究センター)

1. 奈良県の局地風(その1)ー平成10年台風7号の事例解析ー

*山本義弘・堤 利文・野村和典・岡田幸信・野口勝弘・平尾龍一・佐藤啓一・風間千尋・関目秀雄(奈良地方気象台)・林 泰一(京都大学防災研究所)

2. 奈良県の局地風(その2)ー台風の強風域・暴風域に対応する地上風の応答特性ー

*野村和典・関目秀雄・岡田幸信・野口勝弘・平尾龍一・山本義弘・佐藤啓一・風間千尋(奈良地方気象台)

3. 台風第9807号の強風とレインバンドの関係

*藤崎法子(大阪管区気象台)

4. 台風第9807号による近畿地方の強風について

*奥田泰雄・石川裕彦(京都大学防災研究所)・藤井健(京都産業大学)

5. 台風9807号と類似コースを通過した台風の比較

*門脇保雄(京都産業大学理学研究科)・藤井 健(京都産業大学一般教育研究センター)

6. 台風による家屋の被害の変遷

*林 泰一(京都大学防災研究所)

7. 都市とその周辺の台風襲来時における大気微量成分濃度

*岩嶋樹也・寺尾 徹(京都大学防災研究所)・村松久史(名城大学理工学部)

8. 各種レーダーによる冬季雷雲観測結果について

*園井康夫((株)関西電力)・河崎善一郎(大阪大学)・扇澤一平・前川泰之(大阪電気通信大学)・深尾昌一郎(京都大学)

9. 異常気圧振動について

*牧田広道(鳥取地方気象台)

10. 南東気流場における紀伊半島の影響

*酒井亮太・白川栄一・松村三佐男(大阪管区気象台)

11. 大阪北部での大雨(1997.8.7箕面の事例)

*藤本英生(大阪管区気象台)

12. 1997年箕面の豪雨(関空ドップラーレーダーの解析)

*鈴木一志・石川裕彦(京都大学防災研究所)・石原正仁(気象庁)

13. 1999年6月広島豪雨の特徴

*牛山素行(京都大学防災研究所)

関西支部1999年度第2回例会のお知らせ

日本気象学会関西支部は1999年度第2回例会(中国)を次の通り開催します。多数のご参加をお願いします。

日時：1999年10月16日(土) 12時30分～17時30分

場所：広島女子大学教育研究棟1

(広島市南区宇品東1-1-71)

1. 中国山地沿いに発生する放射霧の物理的、化学的性質

*大原真由美(広島県保健環境センター)

2. 中国山地に同時に発生した霧の性状

*藤井清香・中村みゆき(岡山大学大学院理学部)・佐橋 謙(岡山大学)

3. ビデオカメラによる三次盆地の霧の広域観測(III)
宮田賢二・*楠 幸子・佐々木 綾・田中寛子(広島女子大学)
4. 盆地霧の予報に関する研究(IV)
*宮田賢二・楠 幸子・佐々木 綾・田中寛子(広島女子大学)・瀬戸信也(広島県保健環境センター)・水野芳成(広島地方気象台)
5. 海陸風発現日におけるしまなみ海道周辺の風について
*水間満郎(京都大学原子炉実験所)
6. ドップラーソーダーで見る海陸風の動態(2)
*太田 努・岩田 徹(岡山大学環境理工学部)
7. 京阪地域に侵入する海風の鉛直構造—99年夏期観測速報—
*大橋唯太・木田秀次(京都大学大学院理学研究科)
8. 岡山県南部耕作地におけるCO₂フラックスの長期観測
*青木佳之・磯山修一・岩田 徹・大滝英治(岡山大学環境理工学部)
9. 瀬戸内海海水中のCO₂分圧の動態
*柳田早映・沢田典子・北垣順大・宮本尚規・岩田 徹・大滝英治(岡山大学環境理工学部)
10. 台風9810号で観測された Pressure Dip (続報)
*筆保弘徳・塚本 修(岡山大学理学部)
11. 長江・淮河流域のメソ低気圧と梅雨降水系に関する事例解析
*加藤内蔵進・木尾尚登・谷口貴彦(岡山大学教育学部理科教室)
12. 秋雨前線帯の年々の違いと夏からの経過に関する事例解析(その2)—1993~1995年の事例—
加藤内蔵進・福田維子・*木下綾子(岡山大学教育学部理科教室)
13. 西太平洋赤道域における海面フラックスの観測
*鍋倉 誠・高橋聡司・塚本 修(岡山大学理学部)・石田廣史(神戸商船大学)
14. 南半球対流圏ジェットの冬季季節内変動と傾圧不安定波活動の解析
*塩竈秀夫(京都大学大学院理学研究科)・寺尾 徹(京都大学防災研究所)・木田秀次(京都大学大学院理学研究科)

特別講演(16:30~17:30)

「大陸と海洋における大気—地表面相互作用の観測」
塚本 修(岡山大学理学部)

1999年度北海道支部気象講演会のお知らせ

テーマ『北見周辺の自然と気候変動』

日時 1999年10月16日(土) 午後1時~4時40分
場所 北見市ホテル黒部2階樹林の間(入場無料)
北見市北7条西1丁目1番地(JR 駅から徒歩10分)
講演内容 4名の講師により、一般市民を対象に身近な気象現象や天体観測, 地球の気候変動や温暖化の問題について講演する。

①「北見周辺の気象特性」

網走地方気象台 台長 辻 雅彦

②「天体観測と気象」

りくべつ宇宙地球科学館・銀河の森天文台
係長 津田浩之

③「南極を掘る—氷が語る気候変動—」

北見工業大学土木開発工学科 教授 高橋修平

④特別講演

「地球温暖化の諸問題」

京都大学大学院理学研究科 教授 廣田 勇

主催 日本気象学会北海道支部

共催 北見市 北見市教育委員会

後援 NHK 北見放送局 北海道新聞北見支社 北見新聞社 日本気象協会北海道本部 網走地方気象台